

令和5年度 江戸川区立南葛西第二中学校 特別活動全体計画

校長名 古澤 浩一

学校の教育目標	<国際社会に貢献する人の育成を目指す> 1. 人権を重んじ他者を敬愛する(礼儀) 2. 自主・自立の習慣を身に着け、将来を目指して自己実現を図る(自律) 3. 心身を鍛え、個性の発揚を図る(自律) 4. 所属社会の向上と、環境改善を目指して、着実に努力する(開拓)
特別活動の目標	1. 一人一人の生徒が、自主的、実践的であり、自ら考え行動できる能力を養う。 2. 集団の一員としての自覚を高め、積極的に諸活動の運営・実践に、参加、協力する態度を養う。 3. 集団生活の中で、人間的なふれあいを深め、自己を高め、他の尊重する生き方を学ばせる。
目指す生徒像	1. より自己実現を図るために、自ら考え行動できる生徒 2. 集団の一員としての自覚を持った生徒 3. 学校生活の中で、自己を高め、他を尊重する生徒
特別活動の重点目標	1. 集団生活の中で、自己を正しく生かす能力を培う 2. 人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う

		学級活動	生徒会活動	学校行事
目標		(1) 中学生としてよい文化を受け継ぎ、学校生活へのよりよい適応を図る。 (2) 学級の役割を全員で分担し、学級の中で所属感や仲間意識を高め、自己実現ができるようにする。 (3) 学習面、生活面ともに実践力を身につけ、学校生活の充実を図る。 (4) 学級における人間的なふれあいを深め、自己を生かす能力を養う。 (5) 個々の良い面を発揮させ各分野でリーダーとしての自覚を高めるとともに今後の生き方について自覚を深める。 (6) 自己の能力を生かした将来の生き方について考えさせ目標を持たせる。	(1) 学校の実態を見つめ、生徒会組織や活動の改善を図り、全生徒のもつ意見をすいあげ、十分反映できるようにする。 (2) 調和のある生徒会活動計画を立案し、実践的な活動を展開させる。 (3) ボランティア活動を主軸に、体験的な活動を発展的に取り入れ、自主的に活動に参加・協力する態度を育てる。	(1) 学校生活の流れの中で、集団活動を通し望ましい変化を与えることにより、日常の学習成果を総合的に発展させ、明るく豊かな人間性を養う。 (2) 各行事に積極的に取り組むことにより学校の一員としての自覚をもたせる。 (3) 行事を通して感動的な体験を味わわせ人間として今後の自己の生き方を考えさせる場面とする。
	指導の方針	(1) 自主的・実践的な活動を通して、学級や学校生活づくりを図っていく。 (2) 生徒が直面している問題とのかかわりの中で人間としての生き方を探求させる。 (3) 社会人・職業人として自立していけるように適性を吟味させる。	(1) 生徒の自治活動を通し、自主的に参加・協力する態度を育てる。 (2) 生徒会活動へ意欲的な取り組みを促し、生徒の創意工夫を積極的に活かすとともに、活動時間の確保に努める。	(1) 計画的に学校行事を取り入れ、各教科等の学習で学んだ能力を総合的に取り入れ効果的に展開されるようにする。 (2) 日常の各教科等の学習を充実したものにすることで学校行事においても成果をあげる。
主な指導内容		(1) 学級や学校生活の充実と向上に関すること ・学級の諸問題の解決等 (2) 個人及び社会の一員としての在り方、学校生活の充実及び健康や安全に関すること ・健全な生き方の探求等 (3) 将来の生き方と進路の適切な選択に関すること ・進路適性の吟味等	(1) 生徒会総会 (2) 専門委員会 学年・生活美化・放送・保健給食・図書 (3) 中央委員会 (4) 生徒会行事 対面式・部活動紹介・生徒総会・朝礼・認証式・離任式・新入生説明会・生徒会誌「波光」発行	(1) 儀式的行事 入学式・卒業式・始業式・終業式 等 (2) 学芸的行事 音楽鑑賞教室・学芸発表会 合唱コンクール (3) 健康安全・体育的行事 健康診断・避難訓練・交通安全指導 薬物・喫煙に関する指導 保健ニュース・たより 運動会・球技大会 (4) 旅行・集団宿泊的行事 校外学習・修学旅行・林間学校 (5) 勤労生産・奉仕的行事 全校美化活動・大掃除 等
他の教育活動との関連	各教科・授業科	学級会活動・授業中での話し合い活動に重点を置く。少人数グループでの話し合い・計画・調査・発表を大切に。各教科の学習を通して培う。学級活動・教科に関わる力を学年を経るごとに発展できるよう、計画的に取り組む。	話し合い活動、言語等による表現や発表に重点を置く。生徒会活動における自発的な実践活動により、各教科で培った力をさらに深められるようにする。	運動会・合唱コンクール・音楽鑑賞教室・日本のしらべ等の行事を各教科と関連させ発表の場とする。
	特別の教科 道徳	集団生活に必要な、よりよい人間関係を築こうとする態度を育てる。	生徒がよりよい生活を築くために、諸問題を自主的に見いださせる。また、協力して解決しようとする自発的、自治的な生徒会活動を通して、望ましい人間関係の形成や、よりよい生活づくりに参画する態度などにかかわる道徳性を身に付ける。	特に次の行事については重点的に扱う。
	総合的な学習の時間	少人数グループでの話し合い活動や発表等を通して、よりよく問題を解決する資質は能力を育てる。また、その能力を発表する場を設ける。	生徒会による諸活動を実践することを通して、自分とのかかわりを視点とした問題発見能力、課題解決能力などを育成するとともに、これらを総合的な学習の時間の諸活動に役立てるようにする。	・合唱コンクール・運動会：学校の一員としての自覚をもち、協力する。
の地域連携とや		家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用などを工夫する。地域人材の活用を図る。関係機関等の専門家などから話を聞くなどの活動を工夫していく。	他校との相互交流・地域社会との連携を深めたりするなど、校外での活動への広がりを図る。地域の人材を活用した教育活動を工夫していく。	・儀式的行事：日本人としての自覚をもって、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。
備考				(1) 社会とのかかわりを考える学習活動として職場体験・ふれあい体験・国際理解教育に取り組む。 (2) 環境や自然を課題とした問題の解決や探究活動とし宿泊行事に取り組む。 (3) 学校行事を集団や学校生活への所属感を深め、望ましい人間関係の形成や公共の精神などを養う活動ととらえる。 家庭や地域の人々との連携を深める。地域の自然、文化、伝統を生かす活動を行う。